

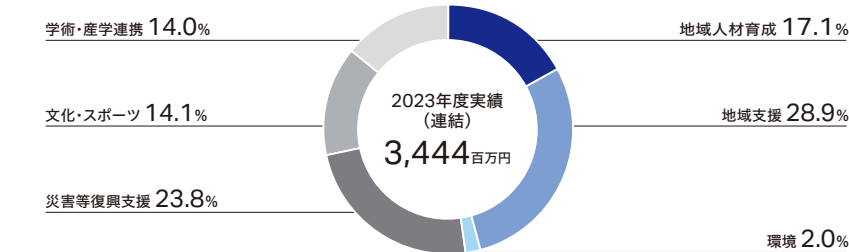
社会と共に

社会貢献活動

コマツは、事業を行う地域への社会貢献活動も企業の責任の一つと考えています。当社ではサステナビリティ基本方針のもと、「事業活動を通じた社会貢献」を企業の社会的責任と認識し、事業の強みを活かした社会への還元に取り組んでいます。

図：2023 年度 社会貢献活動実績

コマツの社会貢献活動を、一般的な6つのカテゴリーに分類して集計した結果は以下のとおりです。



社会貢献活動実績(形態別)

金銭支援	社員の派遣など (時間を金額換算)	自社施設の 地域解放など *無償貸与のレンタル車両を含む	イベント開催などの 経費	合計
2,296百万円	531百万円	321百万円	296百万円	3,444百万円

■ 能登半島地震への支援

2024 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震に際して、コマツは、自治体や支援団体による緊急救助・復旧・復興活動に必要な建設機械やフォークリフトなどの無償貸与や、避難所への備蓄食料の寄贈などを行ったほか、石川県に 5 億円、富山県に 1 億円の義援金を拠出しました。また、社員と会社が拠出した募金を、被災したグループ社員、協力企業（サプライヤー）、販売代理店の支援に充てています。

現在、被災地では災害ゴミの回収・処分が課題となっているため、こうしたニーズにマッチした車両などの無償貸与を継続していきます。



避難所の小学校校庭を歩きやすいように整地する様子

※画像提供：日本財団／ジャパン・プラットフォーム



被災した酒蔵から再建に必要な物資を取り出している様子

■ 地雷除去活動

コマツは、対人地雷の被害に苦しむ地域において、地雷処理から復興までのコミュニティ開発を目的とした支援活動を行ってきました。コマツの専門技術やものづくりに関する知恵を結集して開発した対人地雷除去機や建設機械を活用し、2008 年に認定特定非営利活動法人「日本地雷処理を支援する会 (JMAS)」をパートナーとしてカンボジアでの活動を開始しました。本活動は現在も継続中です。



対人地雷除去機「D85MS-15」



コマツが寄贈した小学校に通う子どもたち



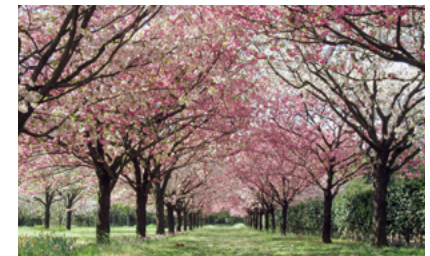
農業 CSR 活動で無償貸与している建設機械

Web 「第 21 回企業フィランソロビー大賞」を受賞

■ 日本花の会の活動

公益財団法人日本花の会（以下、日本花の会）では、「桜の名所づくり」と「花のまちづくり」を通じて、潤いのある環境づくりを推進しています。コマツは、社会貢献活動の一環として、同会の活動を 1962 年の設立時から支援しています。日本花の会は茨城県に保有する結城農場で桜の苗木を生産し、これまでに 250 万本以上を海外や日本各地にお届けしています。さらに、日本花の会 結城農場・桜見本園（茨城県結城市）蓄積された桜に関する情報やノウハウを基盤に、桜の植栽や植え替え・維持管理・保護再生・人材育成・シンポジウムなどを通して「桜の名所づくり」に取り組んでいます。

結城農場に隣接した桜見本園には、約 400 種類、1,000 本以上の桜を植栽し、調査研究に活用するとともに、外部の専門家や一般の方々にも公開しています。また、花の社会性を活かしたコミュニティづくりの支援や花のまちづくりコンクール、幼児を対象とした花育などを通して「花のまちづくり」にも取り組んでいます。



日本花の会 結城農場・桜見本園（茨城県結城市）

Web （公財）日本花の会ホームページ